

第6回 小田滋賞選考経過および授賞式の開催

去る2019年6月8日(土)、アルカディア市ヶ谷において、第6回小田滋賞授賞式が開催されました。

今回の募集には、21編の応募があり、その内訳は、国際法18編、国際私法1編、国際政治・外交史2編でした。また、応募者には11名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分かれます。予備審査の結果、7編の応募論文が最終選考の対象となりました。そして、これらの論文について、代表理事から選考委員に委嘱された柳原正治教授、吉川元教授、佐野寛教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、2019年5月18日(日)に開催された第38回理事会は、第6回小田滋賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

最優秀賞

該当者なし

優秀賞 2名

村角 愛佳(京都大学大学院法学研究科)

研究分野:国際法

吉田 暁永(早稲田大学大学院法学研究科)

研究分野:国際法

奨励賞 4名

高木 海翔(広島修道大学法学部)

研究分野:国際政治・外交史

田村 侑也(中央大学大学院法学研究科)

研究分野:国際私法

根本 裕陸(東京外国語大学大学院総合国際学研究科)

研究分野:国際法

福田 優子(大阪大学大学院国際公共政策研究科)

研究分野:国際法

授賞式は、受賞者6名のほか、選考委員の柳原教授及び吉川教授、評議員、並びに理事が出席して開催されました。開会の辞のあと、浅田正彦代表理事から、小田滋賞の趣旨と今回の選考の経緯が説明された後、受賞者に表彰状と副賞目録が授与されました。また、選考委員の2名の先生方から、受賞論文に対して、今後の皆さんのご研究の発展を祈念して詳細な講評を頂きました。その後、受賞者の6名から、受賞の挨拶と今後の抱負を述べていただきました。限られた時間ではありましたが、式典終了後も、受賞者は出席の先生方と歓談の機会をもつことができ、和やかな会となりました。

国際関係法教育委員会
委員長 西谷 祐子